



2019. 8. 29 香川県立五色台少年自然センター（香川県高松市生島町423）で撮影

## クモの網<sup>あみ</sup>

クモは広い空間に糸を網の形に張り、餌<sup>えさ</sup>となる昆虫などの小動物をとらえています（写真はジョロウグモ）。網の形は、中心から放射状に広がる円網<sup>ほんもう</sup>と呼ばれる構造<sup>こうぞう</sup>です。円網は外側に枠糸<sup>わくいと</sup>があり、その枠の中に中心から放射状にのびた縦糸<sup>たていと</sup>と、同心円を描くように張られた横糸<sup>えが</sup>でできています。縦糸は、網を支える役目があり、丈夫な糸<sup>ぶ</sup>です。横糸は、昆虫を捕まえる役目があり、細く、粘液<sup>ねんえき</sup>がついています。

クモは網の中心に身構え<sup>みがま</sup>、昆虫が網に触れて振動すると餌に飛びつきます。クモの巣に葉っぱなどを投げつけると、飛びついてくる様子を観察することができます。